

山口県医師会 令和2年度 事業報告

I 実施事業

—地域医療・保健・福祉を推進する事業—

1 生涯教育

加藤 副会長 郷良常任理事
白澤 理事 山下 理事

生涯教育事業では中核事業である生涯研修セミナーの講演内容を年4回の生涯教育委員会で企画・検討した。生涯研修セミナーでは、新型コロナウイルスの影響により5月分が来年度に、9月分は台風10号の影響により予定通り開催できなかったが、なんとか工夫をして3回開催した。11月に開催したシンポジウムは災害医療に関してであり、JMAT、DMAT、日赤災害救護班、県行政の立場からの発表があり、山口県の災害医療体制の理解・今後の課題整理に役立った。また、専門医共通講習（医療倫理）の単位を取得できる講演会を開催した。

第103回山口県医学会総会は長門市医師会の引き受けにより「ルネッサながと」で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、記念誌発行へと変更した。

体験学習は、例年通り山口大学医学部・山口大学医師会の主催により開催予定だったが、こちらも新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため来年度に延期となった。引受教室は引き続き「消化器内科学講座」および「器官病態内科学講座」にお願いしている。

医学生や研修医を指導する臨床研修指導医を養成するために実施している「指導医のための教育ワークショップ」は今年度中止となったが、県内の指導医が500名を超えることや応募者数の減少、講師確保が困難な状況などから来年度以降の事業は廃止とした。

日医かかりつけ医機能研修制度は基本研修、応用研修、実地研修の3つの要件があり、今年度も必須要件である応用研修会を開催した。今年度は5月に日医会場からの配信が中止となったため、同内容をDVD講義にて9月および10月に

開催し、受講機会を確保した。

第55号の山口県医学会誌を発行した。

1 山口県医学会総会

第103回（ルネッサながと）（※中止）
記念誌発行

2 生涯研修セミナー

第156回 11月15日
特別講演2題、シンポジウム1題
第157回 2月14日
特別講演2題
第158回 3月14日
特別講演4題

3 体験学習（山口大学医師会主催）

第71回・第72回（※中止）
引受：消化器内科学講座・器官病態内科学講座

4 指導医のための教育ワークショップ

第17回 9月26日・27日（※中止）

5 日医かかりつけ医機能研修制度

応用研修会 9月27日 10月25日

6 山口県医学会誌

第55号の編集及び発行

7 生涯教育諸会議

郡市医師会生涯教育担当理事協議会

3月18日

生涯教育委員会 5月23日 7月4日

10月10日 2月13日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

2 医療・介護保険

清水専務理事 郷良常任理事
山下理事 伊藤理事
藤原理事

令和2年度の診療報酬改定率は、全体でマイナス0.46%となり、本体はプラス0.55%（国費600億円程度）、医科はプラス0.53%、別途、消費税財源を活用した救急病院における勤務医の働き方改革への特例的対応として、プラス0.08%が措置された。

しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という未曾有の事態が発生し、患者の受診控え及びゾーニング対応、また、同コロナ感染症用の病床確保及び回復患者を受け入れる後方支援病院の確保等に医療資源が集中した影響等もあり、各医療機関の医業収入は10%～30%の減少を余儀なくされたところである。

この状況に国の施策として、「医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業」「新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業」等が実施されているが、医療従事者の労働環境悪化を改善するまでには至らない状況であった。

一方の診療報酬においては、患者の受診行動の変容を目的として発出される「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱い」（厚生労働省保険局医療課 事務連絡）等により、オンライン又は電話による初診料を認める制度や同様に投薬を認める制度等、従来と一変する制度が数多く容認されたところであるが、これらが適正に運用されるよう、周知等に努めたところである。

前述のように、コロナ禍に翻弄された1年であったが、会員から持ち上がる診療報酬の問題点、改正点については積極的に日医へ進言し、医療保険対策を講じているところであるが、その進言の基となるのは、郡市医師会保険担当理事協議会及び社保国保審査委員との協議会等から提出される意見であることから、これら協議会等は非常に重要な意見交換の場となっており、今後も充実に努めていくところである。

個別指導に関しては、コロナ禍における感染症対策の制限もあり、今年度は7回の実施となった。保険指導医は全員県医師会の保険委員を兼任する

こととし、立会いについても医師会の保険担当役員（郡市及び県）が行うことで、医療担当者側の立場が尊重された適正な保険指導が実施されるように努めた。

介護保険については、郡市介護保険担当理事・ケアマネ・訪問看護師との合同協議会及び郡市介護保険担当理事協議会（介護報酬改定説明会）を開催し、関係機関等との連携強化・情報伝達に努めた。さらに、地域包括ケアシステムの推進（認知症サポート医の養成及びフォローアップ研修）等についても行政を含む関係機関等との協議を重ねた。また、その他の認知症関連の研修会、地域包括診療加算・地域包括診療料に係る研修会、主治医意見書記載のための主治医研修会を開催し、診療報酬の施設基準等を満たすべく研修を実施した。

令和元年8月に創設された「オレンジドクター制度」については、本会ホームページ等を活用し、会員へ周知を行った。その他、行政を含む関係者と協議した。

労災・自賠責保険については、郡市労災・自賠責保険担当理事協議会・労災保険医療委員会合同会議を開催し、それぞれの保険が抱える特有の問題（自動車事故医療における健保使用等）について協議、情報提供を行った。また、労災診療に関する要望書を山口労働局と日本医師会へ提出した。

山口県自動車保険医療連絡協議会においては、各損保会社、各医療機関から提出された交通事故医療に関する未解決事例について、加盟の損保会社と協議を行い対処した。

医療保険

1 医療保険の指導

個別指導（すべて会場は山口市）

9月24日	10月22日	10月29日
11月26日	12月10日	12月24日
		2月25日

指定時集団指導（※中止）

新規第1号会員研修会 10月8日

新規保険医療機関個別指導（山口市）

9月24日 10月22日

社会保険医療担当者集団指導 (※中止)

2 日医・郡市医・医療保険関係団体等との連携

中国四国医師会連合総会分科会
 5月16日(高松市)(※中止)
 10月3日(鳥取市)(Web)
 郡市保険担当理事協議会 8月6日
 医師会推薦社保・国保審査委員合同協議会 (※中止)
 保険委員会 4月23日 3月4日
 社保・国保審査委員連絡委員会
 8月27日 2月4日
 社保・国保審査委員合同協議会 (※中止)
 社会保険指導者講習会 (※中止)
 山口県医療保険関係団体連絡協議会
 (書面開催)

3 行政機関との連携

山口県健康福祉部厚政課との打合せ
 4月23日
 中国四国厚生局山口事務所、山口県健康
 福祉部医務保険課との打合せ
 4月2日 4月23日

介護保険

郡市介護保険担当理事協議会・
 介護保険対策委員会・関係者合同協議会
 11月26日
 地域包括診療加算・地域包括診療料に係る
 かかりつけ医研修会
 11月29日 3月28日
 かかりつけ医認知症対応力向上研修会
 10月18日 11月8日
 認知症サポート医フォローアップ研修会
 2月28日
 主治医意見書記載のための主治医研修会
 10月17日 2月28日
 都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会
 (Web) 3月10日
 郡市介護保険担当理事協議会(介護報酬
 改定に関する伝達説明会) 3月25日

労災・自賠償関係

郡市労災・自賠償保険担当理事協議会・
 労災保険医療委員会合同会議 11月5日
 自賠償医療委員会 9月10日 2月25日
 山口県自動車保険医療連絡協議会
 9月10日 2月25日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

3 地域医療

前川常任理事 清水専務理事
 伊藤理事 上野理事
 藤原理事 茶川理事

地域医療

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、我が国の医療提供体制に多大な影響を及ぼし、局所的な病床や専門人材の不足、感染症対応も含めた医療機関間の役割分担・連携体制の構築、さらに個々の医療機関におけるゾーニング等の院内感染防止対策や感染防護具や人工呼吸器等の医療用物資の確保・備蓄など、地域医療における様々な課題が浮き彫りとなった。

そのような中で、地域の医療提供体制の中で中心的役割を担っている郡市医師会及び会員医療機関の状況把握に努めるとともに、県行政との調整、日本医師会からの情報伝達等に努めた。

(1) 保健医療計画の推進

国が進める地域医療構想は、本県においても、各圏域の地域医療構想調整会議で議論され、昨年度末には県内の2区域が地域医療構想の実現に向けた重点支援区域に選定されたところであるが、今年度は新型コロナウイルス感染症の出現により、調整会議自体がほぼ未開催であった。

また、医療法に基づく「医療計画(第7次)」が「中間評価・見直し」の年であったことから、県において在宅医療に関する実態調査が実施され、計画の数値目標と現状値から進捗状況等が示された。その結果、救急医療・災害医療・在宅医療の分野では達成又は改善されていたが、一方で女性のがん・生活習慣病・小児に関する指標では数値が

後退しているものもあった。

地域医療介護総合確保基金（医療分）については、引き続き予算確保に努めたが、県の財源不足もあってなかなか上手く活用できていない実状にある。

下関市地域医療シンポジウム 3月6日
県による基金（医療分）ヒアリング

10月29日

厚労省：医療政策研修会及び地域医療構想

アドバイザー会議（録画配信）

中国四国医師会連合分科会

【第3分科会】（Web） 10月3日

地域医療計画委員会（※中止）

郡市医師会地域医療担当理事協議会（※中止）

（2）救急・災害医療対策

①初期救急医療について

郡市救急医療担当理事協議会を開催し、特に新型コロナウイルス感染症流行下における地域の救急医療体制の確保に向けた情報提供、意見交換等を行った。また、AEDの普及促進を図るため、講習会で使用する訓練用資機材の貸出を行った。本会独自で調査していた医療機関におけるAED設置状況やAEDによる救命措置の状況については、AEDの普及状況等を鑑み今年度をもって終了とした。

昨年度に引き続き、ACLSシミュレータレンタル費用の助成を1医療機関につき15万円を上限として行い、1機関に助成を行った。

郡市医師会救急医療担当理事協議会

7月9日

全国メディカルコントロール協議会

連絡会（Web） 8月26日 1月29日

②小児救急について

病院勤務医の負担を軽減し、地域で安心できる小児救急医療環境を確保するため、各郡市医師会の協力により、乳幼児の保護者を対象にした啓発講習会及び小児科を専門としない医師を対象とした地域医師研修会を開催した。

また、全時間帯が民間業者に委託されている「小児救急医療電話相談事業」は、令和元年2月から2回線で運用されている。この事業については、郡市医師会小児救急医療担当理事協議会にて、昨年度の実績を報告するとともに、今後の課題等について意見交換を行った。

郡市医師会小児救急医療担当理事協議会

6月11日（書面開催）

③検死（検視・検案）体制について

例年どおり、警察医会を中心として、役員会・総会を開催し、警察が行う死体検案に協力する医師の連携を図り、研修会を実施した。また、県医師会表彰の地域社会に対する功労者として警察活動協力医を推薦した。

警察医会 役員会

6月3日（※中止） 8月1日

2月6日（書面開催）

総会

8月1日

研修会

8月1日 2月6日（※中止）

④災害医療体制について

各郡市医師会又は病院単位によるJMATチームの事前登録を進めた。（26チーム・194人：令和3年3月末現在）

新型コロナウイルス感染症と災害医療をテーマにした研修を開催した。また、現行「JMATやまぐち活動マニュアル」の追補版として、JMATやまぐち隊員の活動についてまとめた「支援JMAT版」「被災地JMAT版」のマニュアル、「資料集」を新たに作成した。

日本医師会主催のJMAT研修が開催され、基本編、ロジスティクス編を受講した。

「JMATやまぐち」災害医療研修会 11月1日

「JMATやまぐち」災害医療研修会

事前打合せ会

7月8日

日医JMAT研修「基本編」（Web）

1月17日

日医 JMAT 研修「ロジスティクス編」(Web)	3月21日
都道府県医師会災害医療・感染症危機管理 担当理事連絡協議会 (Web)	6月11日
防災訓練 (災害時情報通信訓練)	
南海トラフ大震災想定訓練	2月10日

第33回全国有床診療所連絡協議会 「福岡総会」	10月11日
全国有床診療所連絡協議会中国四国ブロック会 役員会 (Web)	8月30日 1月24日
総会・研修会 (Web)	1月24日

(3) 地域包括ケアシステムの構築

在宅医療・介護の連携推進は、地域の特性に応じた地域包括ケアシステム構築の中核と捉え、各郡市医師会が積極的に関与していくことが重要である。今年度も郡市医師会担当理事会議を開催し、郡市医師会への取組みに対して助成を行った。新型コロナウイルス感染症への対応としては、高齢者・障害者施設や医療機関等でのクラスター発生時に感染対策指導や患者搬送・医療支援をする対策チームへ登録し、県が実施する訓練や研修会へ参加した。

郡市医師会地域包括ケア担当理事会議	9月24日
山口県在宅医療推進協議会	1月14日
中国四国医師会連合分科会 【第2分科会】(Web)	10月3日
都道府県医師会小児在宅ケア担当理事 連絡協議会 (Web)	10月29日
新型コロナウイルス感染症 感染症クラスター対策研修会 (医療従事者)	
事前研修	10月11日
本番研修	10月25日
図上訓練	12月20日

(4) 有床診療所対策

有床診療所部会においては、全国的に閉院・無床化が進む中、健全な運営に向けた診療報酬による評価など全国有床診療所連絡協議会と連携して取り組んだ。

有床診療所部会役員会	8月8日 10月22日
有床診療所部会総会	10月22日

地域福祉

福祉領域においては、行政の会議等へ出席するとともに、障害者福祉、児童・母子福祉などの地域保健部門と連携をとり、会員への情報提供に努めた。

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

4 地域保健

中村常任理事	河村常任理事
沖中常任理事	伊藤理事
上野理事	茶川理事
縄田理事	

地域保健は、妊産婦・乳幼児保健、学校保健、成人・高齢者保健及び産業保健の4部門からなり、各事業は多岐にわたっている。住民の「生涯を通じた健康の保持・増進」の目標のもと、一連の流れとして捉え、関係機関と緊密に連携を取りながら事業を進めた。

妊産婦・乳幼児保健

広域予防接種は、各郡市医師会や各市町関係者と合同会議を開催し、円滑に遂行されている。令和2年10月から乳幼児に対するロタウイルスワクチンが定期接種に加わった。地域医師会や市町行政と連携し、円滑な実施に努めた。また、今年度も、予防接種に関する知識と理解を深めることを目的に研修会を開催した。

おたふくかぜワクチン、小児のインフルエンザワクチンの費用助成、B型肝炎定期接種の対象外である年齢の小児に対する助成を県及び市町に対して要望した。また、積極的な勧奨が差し控えられている HPV ワクチンの対象者への情報提供及び接種年齢を過ぎた方への経済的補助を県及び市町に対して要望するとともに、普及啓発のための

ポスターとリーフレットを作成した。

「子ども予防接種週間」は、保護者をはじめとした地域住民の予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図ることを目的に、日本医師会、日本小児科医会、厚生労働省の主催で実施され、本会としても協力医療機関の調査や市町への広報について協力した。

母子保健分野では、乳幼児健康診査や妊婦健康診査の料金案等について関係機関と意見交換の上、県医師会案を行政に提示し、協議を行うとともに円滑な実施をお願いした。

乳幼児の医療費助成の拡充や産前・産後サポート事業の実施、生後2週間児及び1歳児を対象とした乳児健診への助成、新生児聴覚スクリーニング検査の公費助成の推進、挙児希望女性・妊娠初期女性への葉酸配布、3歳児健診での屈折検査の実施等について県及び市町に対して要望した。

また、虐待防止活動として山口県産婦人科医会と共催で研修会を開催した。

郡市医師会妊産婦・乳幼児保健担当理事	
協議会・関係者合同会議	9月 3日
予防接種医研修会	12月 6日
日医母子保健講習会 (Web)	2月 28日
児童虐待の発生予防等に関する研修会	11月 8日

学校保健

学校医部会では、学校医活動の活性化と資質向上に向けた取組みとして、学校医研修会を企画し、富山大学小児科の種市尋宙先生に「小児における新型コロナウイルス感染症とその特徴～こどもたちの日常を取り戻す取り組み～」について講演いただいた。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、児童生徒等の健康診断実施に係る留意事項を県教育委員会等と協議のうえ発出した。そのほか、昨年度に引き続き「学校医の手引き」の改定作業や、「学校医活動記録手帳」の作成、配付を行った。

学校心臓検診検討委員会では、学校心臓検診報告書の作成や精密検査医療機関への疑義内容の照会など県内統一の学校心臓検診システムの精度管

理をするとともに、「学校突然死の現状と学校心臓検診ガイドライン」と題した研修会を実施した。

中国地区学校保健・学校医大会の当番県として、開催準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大会誌の作成をもって書面開催とした。

その他、例年通り各郡市医師会主催の学校医等研修会及び小児生活習慣病対策に対して助成を行った。

学校心臓検診検討委員会

5月 7日 (書面開催)	9月 17日
	1月 21日
学校医部会総会・学校医研修会・学校心臓	
検診精密検査医療機関研修会	12月 6日
学校医部会役員会	6月 4日 (書面開催)
郡市医師会学校保健担当理事協議会・	
学校医部会合同会議	11月 19日
中国四国医師会連合学校保健担当理事連絡	
協議会「鳥取」(Web)	8月 23日
中国地区学校保健・学校医大会「山口」	
	8月 23日 (書面開催)
第51回全国学校保健・学校医大会	
「富山」(Web)	11月 14日
同 都道府県医師会連絡会議 (書面開催)	
若年者心疾患・生活習慣病対策協議会	
理事会「富山」	2月 27日 (※R4に延期)
第53回若年者心疾患・生活習慣病対策	
協議会総会「富山」	1月 28日 (※R4に延期)

成人・高齢者保健

糖尿病対策として、「やまぐち糖尿病療養指導士」の資格認定者を対象に知識・技術向上及び資格更新のためのレベルアップ講習会を開催した。

特定健診・特定保健指導は依然として受診率・終了率が低い。実施状況や検討課題について、保険者や決済代行機関（支払基金・国保連合会）の出席のもとで郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事協議会及び関係者合同会議を開催した。

がん対策では、がん検診受診率向上の施策の一つとして、休日及び平日夜間にがん検診を実施する医療機関へ助成する事業を実施した。

健康教育委員会では、今年度のテーマを「花粉症」として、健康教育テキストの内容を検討し、発行した。

感染症対策については、麻しん・風しんや動物由来の感染症等に関する日本医師会及び県からの通知など、郡市医師会を通じて会員への周知に努めた。

健康スポーツ医学研修会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止した。

禁煙推進委員会では、本会会員の喫煙に対する意識や現状を把握し、実効性の高い対策を展開するための基礎資料とすることを目的に、「喫煙や禁煙指導等に関するアンケート調査」を実施した。

郡市医師会成人・高齢者保健担当理事協議会	5月14日(書面開催)
山口県糖尿病対策推進委員会	7月30日
	10月22日(書面開催) 1月28日
山口県糖尿病療養指導士講習会	7月12日 8月2日
	9月13日 10月4日(※すべて中止)
「やまぐち糖尿病療養指導士」	
第13回レベルアップ講習会	12月5日
郡市医師会特定健診・特定保健指導担当	
理事及び関係者合同会議	10月1日
健康教育委員会	
	7月8日 10月7日 12月2日
山口県胃内視鏡検診研修会	2月7日(※中止)
山口県緩和ケア研修会	2月11日(※中止)
健康スポーツ医学委員会	7月30日
健康スポーツ医学研修会	
	9月12日 11月23日(※すべて中止)
禁煙推進委員会	6月25日 10月22日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症については、県の専門家会議、モニタリング会議等へ参画し、感染の発生状況や国・県の取組み状況を把握し、地域の医療提供体制の確保に向けて一層の連携を図ると

ともに、会員への迅速な情報提供に努めた。

また、県からの説明会議においては、事前に各郡市医師会からの意見・要望を取りまとめ、その対応について調整して報告した。4月には県に対して、医療従事者が安心して患者を診られる体制の確保やPCR検査の拡充などの緊急要望を行い、4月26日には県知事と県医師会長によって、一致団結して医療崩壊を防ぎ、持続可能な医療体制を維持するための共同アピールを行われた。

年度当初からの衛生資材の不足に対しては、国から県を通じて供給されるマスクや非滅菌手袋等について、各郡市医師会を通じて診療所等へ配布するとともに、日本医師会や国際ロータリー等から提供されたフェイスシールドなどのPPE資器材は重点医療機関、入院協力医療機関を中心に配布した。

また、地域外来・検査センターの整備に当たっては、各郡市医師会へ設置状況について調査を行うとともに、他県の活動状況等を情報収集し、出務者の補償や手当等について県と協議を行った。

秋以降のインフルエンザの流行期に備えては、郡市医師会及び県との意見交換会を開催し、11月からの体制整備に向けて、診療・検査医療機関の確保に努めた。

年末年始の体制に向けては、各地域の発熱外来、(疑い)患者の搬送・受入体制、検体検査応需体制等を調査し、適正な対応が講じられるように努めた。

新型コロナウイルスのワクチン接種については、会員への迅速な情報提供を行うとともに、県及び各郡市医師会等の医療関係団体と連携し、接種実施体制の構築に協力した。医療従事者等の優先接種では、郡市医師会を通じて診療所等の接種予定者数及び接種希望者リストの取りまとめを行い、また、日本医師会と全国知事会の集合契約に伴う委任状の取りまとめを行った。

郡市医師会新型コロナウイルス感染症協議会

4月21日

次のインフルエンザ流行に備えた県医師会・

郡市医師会との意見交換会 9月17日

次のインフルエンザ流行に備えた体制整備に

係る合同会議 10月 8日
 次のインフルエンザ流行に向けた具体的
 対応に係る圏域会議について
 岩国・萩 10月 27日
 周南 10月 28日
 山口・防府・宇部・小野田・下関 10月 29日
 柳井・長門 10月 30日
 新型コロナウイルスワクチン接種対策会議
 1月 21日
 新型コロナウイルスワクチン接種体制
 確保に関する圏域会議
 第1回 1月 7日～13日
 第2回 1月 27日～28日
 第3回 2月 6日～10日
 第4回 3月 9日～11日
 新型コロナウイルス感染症クラスター対策
 研修会 10月 11日 10月 25日
 山口県新型コロナウイルス感染症
 クラスター対策図上訓練 12月 20日
 新型コロナワクチンの接種体制実施に向けた
 医療機関向け説明会 2月 20日
 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症
 担当理事連絡協議会 (Web)
 4月 3日 4月 10日 4月 17日
 4月 24日 5月 1日 5月 8日
 5月 15日 5月 22日 5月 29日
 7月 31日 8月 27日 9月 24日
 10月 30日 11月 27日 12月 25日
 1月 18日 2月 16日

産業保健

国では「取組の5つのポイント」の確認を事業場に働きかける等、職場における新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図っている。労働者の安心した職場環境づくりには、感染予防、健康管理の強化が重要であることから、県医師会主催の産業医研修会では、災害防止を踏まえた公衆衛生や職域における新型コロナウイルス対策を取り上げ、産業医の資質向上を図った。また、郡市医師会協力の産業医研修会では、要望を踏まえて、研修会を計18回企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため16回の開催となった。

また、県内の産業保健活動を推進するため、山口産業保健総合支援センター、郡市医師会、労働局など各関係機関との連携を行った。

全国医師会産業医部会連絡協議会 5月 31日
 山口県医師会産業医部会理事会 8月 6日
 山口県地域両立支援推進チーム第4回会議
 11月 9日
 郡市医師会産業保健担当理事協議会
 3月 4日 (書面開催)
 山口産業保健総合支援センター運営協議会
 9月 3日 3月 4日 (書面開催)
 第42回産業保健活動推進全国会議 (Web)
 2月 4日
 山口県医師会産業医研修会
 9月 2日 9月 3日 9月 17日
 9月 19日 9月 24日 10月 8日
 10月 29日 11月 4日 11月 5日
 11月 12日 12月 3日 12月 10日
 12月 19日 1月 27日 2月 4日
 2月 7日

5 広報・情報

今村 副会長 中村常任理事
 長谷川常任理事 白澤 理事
 藤原 理事

広報事業

広報事業は、組織の主張を展開し会員間の討論の場ともなる重要な分野である。令和2年度も対内広報と対外広報の発展に努めた。

①広報活動事業

医師会報の作成については、毎月開催している広報委員会において、誌面の刷新並びに記事やコーナーの充実をより一層図っており、「新郡市医師会長インタビュー」、「新病院長に聴く」、「指導医に聴く『私が研修医だった頃』」を行い、それぞれ掲載した。また、新型コロナウイルス感染拡大の状況下で日常診療に携わっておられる会員の先生方にご参考にしていただくことを目的に「COVID-19」の特集を組み、呼吸器専門医、感染症指定医療機関及び行政のお立場から原稿をお

寄せいただくとともに、会員の先生方の投稿の2部構成として掲載したところ、大変好評であった。

ホームページについては、会員だけでなく県民への情報発信に必須の手段となっているが従来、県民向けのページがなく、対外広報の一環としては十分ではなかったこと、また、今後、ホームページを利用される機会が増えると思われることから、平成29年度に大幅にリニューアルを行ったところであるが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症関係のページの内容のさらなる充実に取り組んだ。

対外広報活動として、11月に山口県総合保健会館にて県民公開講座を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を中止とした。しかし、毎年開催しており今回で11回目となった「いのち、きずな、やさしさ」がテーマのフォトコンテストについては予定通り開催した。今回は、応募者を「県内在住の方に限定」とするとともに、新たに新人賞（当コンテストの受賞歴がない方が対象）を設けたところ、151作品の応募があり、写真家の下瀬信雄先生を交えて10月に審査会を行い、表彰作品を決定した。なお、表彰式については前述の理由から中止としたため、会報1月号に表彰作品並びに下瀬先生による講評を掲載した。

報道機関との関係については、毎年、報道機関の支社長クラスで組織する山口県報道懇話会との懇談会を開催し、報道関係者との親睦を深めるとともに、医療への更なる理解を求めているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を断念した。

②花粉症情報提供事業

令和2年度は県内20測定機関にスギ・ヒノキ花粉について1月から4月末日まで毎日測定していただき、その結果を本会に連絡してもらい、それを基に翌日の飛散予測を行い、関係機関やマスコミ等に対して情報提供を行った。また、その間、本会のホームページの「花粉情報コーナー」も毎日更新し、最新の情報を県民に伝えるべく努力した。さらに4測定機関には5月から12月末日までイネ科花粉等の測定を行っていただき、飛

散状況について週1回、ホームページに掲載した。

また、正確な花粉飛散情報を県民に提供するため、毎年開催しており測定機関の測定者等を対象に測定精度をより向上させることを目的とした花粉測定講習会、及び隔年で開催している県民公開講座「花粉症対策セミナー」について開催する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、講習会については書面開催、セミナーについては開催を中止とした。

情報事業

例年2～3月に2日間にわたって開催される日本医師会医療情報システム協議会がオンラインで開催されたので出席した。令和2年度のメインテーマは「つなぐ、輝け 医療 ICT」で、「オンライン診療の在り方と展望」「新たな感染症と共存するために必要な ICT ツール」「オンライン資格確認とそのインフラを活用した今後の医療」「個人情報とは誰のもの？から医療情報の活用へ」「医療現場での夢のある AI 活用について」の発表があり、活発な議論が交わされた。

また、Web 上にて研修会等への出席のエンターリーができるシステムについて活用した。

対内広報関係

広報委員会

4月 2日	6月 4日	7月 2日
9月 3日	10月 1日	10月 29日
12月 3日	2月 4日	3月 4日
歳末放談会		10月 29日

対外広報関係（県医師会）

フォトコンテスト審査会	10月 1日
同 表彰式	11月 22日（※中止）
県民公開講座	11月 22日（※中止）

花粉情報関係

花粉情報委員会	6月 24日、9月 24日
花粉測定講習会	1月 17日（書面開催）
県民公開講座「花粉症対策セミナー」	1月 17日（※中止）

医療情報システム関係

日本医師会医療情報システム協議会
3月6～7日 (Web)
次世代医療基盤法シンポジウム
2月27日 (Web)

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

内訳

患者	39件		
患者家族・その他	14件		
	上記のうち、		
匿名	38件	非匿名	15件
男性	25件	女性	28件
苦情	21件	相談	32件

6 医事法制

加藤副会長 郷良常任理事
山下理事 縄田理事

過去3年に当会が受け付けた事故報告は、平成29年度が26件、平成30年度は18件で、前年度は13件、今年度は18件であった。うち、既に解決した案件が3件、交渉中が8件、そのほか訴訟案件や様子見案件もある。

医療事故防止対策の一環として毎年行っている「医療紛争防止研修会」は、コロナ禍においては感染症蔓延を避けるために開催を見送った。

医療安全対策については、例年どおり、担当役員において「日医医療安全推進者養成講座」を受講し、医療安全の推進を図った。

医療事故調査制度の運営については対象事案の対応を図るとともに、担当役職員においては「医療事故調査制度に係る管理者・実務者セミナー(e-learning)」(日本医師会)に参加し、調査の精度向上に向けて準備を図った。

診療情報提供の推進についても、例年どおり、患者等からの医療相談の対応及びカルテ開示等への質問に対応し、診療情報提供推進委員会において、当年の相談事例等を報告した。

令和2年度医療紛争発生

受付件数 18件 (日医付託は1件)

内訳

解決	3件
交渉中	8件
訴訟・様子見等	6件

令和2年「診療情報提供推進窓口」

受付件数 53件

医療紛争関係

(1) 医療事故防止対策

医療紛争防止研修会 (※中止)
中国四国医師会医事紛争研究会
(鳥取県担当、Web会議) 11月15日
都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会
(書面開催)
郡市医師会医事紛争・診療情報担当理事協議会
3月11日
冊子「医療事故を起こさないために(第4版)」
の周知徹底

(2) 紛争処理対策

医事案件調査専門委員会
(医師賠償責任保険審議会併催)
4月23日 6月25日 7月30日
8月20日 10月22日 11月19日
12月17日 1月21日 3月18日
医事案件調査専門委員会「事例研究会」
(※中止)
顧問弁護士・医事案件調査専門委員合同協議会
2月27日

(3) 医療安全対策

日医医療安全推進者養成講座 (通常通り受講)
日医医療安全推進者養成講習会
(通信講座を受講)
医療事故調査等支援団体連絡協議会 (※中止)
医療事故調査委員合同打合せ会 (※中止)
郡市医師会医療事故調査担当理事協議会
(※中止)
Ai研究会 (※中止)
医療事故調査の支援：2件

(4) 診療情報の提供

診療情報提供推進委員会 1月28日
 郡市医師会医事紛争・診療情報担当理事協議会 3月11日

薬事対策**(1) 麻薬対策**

麻薬の適正使用・保管・管理・記帳・諸届、毒劇物の保管・管理の周知の徹底を図ったが、特に問題となる事例は発生しなかった。

(2) 医薬品臨床治験

治験に関する情報については本会ホームページを活用し会員に情報提供をしている。

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

7 勤務医・女性医師

今村 副会長 加藤 副会長
 中村 常任理事 長谷川 常任理事
 前川 常任理事 郷良 常任理事
 白澤 理事 山下 理事
 茶川 理事 縄田 理事

勤務医

医師の働き方改革の議論が本格化し、医師の労働時間短縮や健康確保は重要な課題であり、個人の強い使命感や、医療現場の献身的な努力ではもはや解決できなくなっている。また、新医師臨床研修制度や新専門医制度により若手医師が不足することで、過重労働や診療科及び地域の偏在が顕在化しており、勤務医をめぐる環境は非常に厳しい状況にある。

こうした中、勤務医部会では、勤務医をめぐる諸課題の解決に向け、郡市医師会勤務医理事との懇談会、病院勤務医懇談会、市民公開講座、医師事務作業補助者研修会、医学生への啓発事業、座談会、シンポジウムなどを企画したが、新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、多くの事業を中止、縮小せざるを得なかった。

郡市医師会勤務医理事との懇談会は実地とオンラインを併用して開催した。現場を良く知る郡市

医師会の勤務医理事と地域の課題について意見交換を行い、地域の実情に沿った勤務環境の改善等を検討した。また、勤務医の医師会活動への参加促進を行った。

病院勤務医懇談会は、役員等が病院を訪問し、病院長、勤務医、役員等が一堂に会し、勤務医の抱えている諸問題について本音でトークをすることにより課題を抽出、それぞれの果たすべき役割等について検討し対策を講じることを目的に、毎年、県内2か所で実施していたが、今年度は開催を見合わせた。

市民公開講座は、医療現場の諸問題や勤務医の実情を広く地域住民に理解していただくために、郡市医師会の協力のもとに毎年県内2か所で市民公開講座を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

医師事務作業補助者の活用は勤務医の負担軽減に資することから、今後の本県における勤務医の過重労働の軽減や就業環境の向上に係る対策の基礎資料とすることを目的として県内各病院における医師事務作業補助者の配置等の状況について調査を行った。

医学生への啓発事業（医学生のための短期見学研修事業）は、医学生が自身の興味ある診療科の実態を、県内の臨床研修施設で、医学生になった早い時期に体験することにより、県内で医師として働くことの意義や魅力を知ることが目的として、毎年、山口大学医学部医学教育学講座の協力により実施しているが、今年度は実施を見合わせた。

座談会は、「新型コロナウイルスと働き方改革」をテーマに、新型コロナウイルスによって、医師の働き方がどのように変化したのか、どのように自分たちの考え方が変わったのか、自粛中どのように過ごされたか等について意見交換した。この座談会は実地とオンラインを併用して開催し、内容は勤務医ニュース第27号として発刊した。

シンポジウムは新型コロナウイルス感染症に関連したテーマでの開催を検討したが、令和3年度6月に開催を延期した。

臨床研修への取り組みとしては、平成22年4月より、山口大学、県内の基幹型臨床研修病院、

山口県及び山口県医師会で組織された山口県医師臨床研修推進センターにおいて、臨床研修の円滑な推進及び研修医の県内定着に関する事業を行っており、今年度は臨床研修病院合同説明会への参加、指導医・後期研修医等国内外研修助成事業等により、県内の若手医師の確保・育成に努めた。

以下に本年度事業内容を報告する。

1 勤務医対策

- (1) 勤務医部会総会（シンポジウム）、
理事会、企画委員会
 - ① 総会（シンポジウム） 2月14日（※中止）
 - ② 理事会 7月9日
 - ③ 企画委員会 6月2日
9月10日 11月26日
- (2) 郡市医師会勤務医理事との懇談会
10月20日
- (3) 病院勤務医懇談会 （※中止）
- (4) 市民公開講座 （※中止）
- (5) 医師事務作業補助者連絡協議会 7月11日
医師事務作業補助者に関するアンケート
11月
- (6) 医学生への啓発事業
（医学生のための短期見学研修事業）（※中止）
- (7) 勤務医ニュースの発行
 - ① 第26号（6月発行）
内容：令和元年度部会総会・シンポジウム
「再生医療と倫理について」
 - ② 第27号（3月発行）
内容：座談会「新型コロナウイルスと
働き方改革」（11月26日）
- (8) 全国医師会勤務医部会連絡協議会（京都）
10月24日（※中止）
- (9) 都道府県医師会勤務医担当事連絡協議会
6月5日（※中止）
- (10) 中国四国医師会連合勤務医委員会
11月15日

2 臨床研修医の確保対策

（山口県医師臨床研修推進センター事業）

- (1) 臨床研修医歓迎会 4月4日（※中止）
- (2) 臨床研修病院合同説明会

- ・医学生対象
レジナビフェア 2020 大阪
7月5日（※中止）
eレジナビフェアオンライン 11月1日
レジナビフェアオンライン中国・四国 Week
3月14日
レジナビフェア 2021 東京（※中止）
- ・研修医対象
レジナビフェア 2020 大阪
6月7日（※中止）
レジナビフェア 2020 東京
9月13日（※中止）
- (3) 臨床研修医交流会
8月29日～30日（※中止）
- (4) 指導医・後期研修医等国内外研修助成事業
助成実績：0名
- (5) 国内外からの指導医の招へい事業
助成実績：県内基幹型臨床研修病院1病院
- (6) 病院現地見学会助成事業
助成実績：県内基幹型臨床研修病院8病院
- (7) 山口県医師臨床研修推進センター運営会議
11月12日 3月25日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

女性医師

男女共同参画部会では6つのワーキンググループ（勤務医環境問題、育児支援、女子医学生キャリア・デザイン支援、地域連携、広報、介護支援）による活動を継続した。部会総会では毎年、時事的な話題も含めた講演会やシンポジウム等を企画しており、今年度は、コロナ禍により中止した令和元年度総会において予定していた（医）テレサ会 西川医院副院長 / 特定非営利活動法人ぐうですぐう理事長 西川浩子先生の講演『『ぐうですぐう』にいたるまで～多彩で多才な人たちの共生を考える～』と特別企画シンポジウム「新専門医制度に対する期待と不安～女性専攻医・女性研修医・女子医学生の立場から」をWebでの配信を併用し、改めて実施した。

また、日本医師会が開催するフォーラム・連絡

会等は中止になったものの、他県の取り組み等の情報収集に努めるとともに、男女共同参画推進事業助成金制度を継続し、女性医師の医師会活動への参画推進及び医師の働きやすい環境づくりと資質向上に向けた活動を行う郡市医師会への支援を実施した。今年度は、コロナ禍にあることが影響し、郡市医師会の男女共同参画部会等の活動費用の助成は2件にとどまった。

1 勤務医環境問題

女性医師勤務医ネットワークの更新を行った。県内143病院のうち、117病院の登録があった。

2 育児支援

平成21年から山口県の委託事業として専任の保育相談員を置き、女性医師等からの育児に関連した相談を受け支援を続けている。同年設立した保育サポーターバンクでは引き続き登録者の募集を行うとともに、医師に対して、県医師会報、リーフレット、ポスター等において保育サポーターバンク活用の広報を行っており、3月31日現在、総相談件数は209件、バンク登録者は84名である。

また、11月に保育サポーターバンク通信（第11号）を発行し、3月7日に第11回サポーター研修会を開催した。

3 女子医学生キャリア・デザイン支援

年々増加している女子医学生が、先輩女性医師の働く姿を見て、実際に働く現場を体験することにより、自分の将来像を描く参考にすることで、これからの医療を担う責任感を養い、医師として仕事をし続ける自覚を育てることを目的として、平成21年度から女子医学生インターンシップを実施している。今年度は、コロナ禍にあることを考慮し、中止した。

4 地域連携の推進

現在までに県内11郡市医師会により9つの男女共同参画・女性医師部会等が設置されている。郡市間の情報交換の場として男女共同参画・女性医師部会地域連携会議を開催し、各郡市の活動報

告および意見交換を行った。

5 広報

平成23年に山口県医師会ホームページ内に女性医師支援のためのコーナー：やまぐち女性医師ネット（Y-JoyNet）を作成しており、活動状況等掲載情報の更新を適宜行った。

6 介護支援

平成27年度の総会において、日常の介護に関わる課題等について専門家を交えて意見交換を行ったことを基に、医師会としての介護支援の在り方を検討した。

男女共同参画部会総会	3月 7日
男女共同参画部会理事会	7月 4日 9月19日 1月30日
男女共同参画部会ワーキンググループ	
総 会	8月21日
育児支援	8月 3日 1月30日
男女共同参画・女性医師部会地域連携会議	9月19日
保育サポーターバンク運営委員会	8月 3日 1月30日
保育サポーター研修会	3月 7日
日医（第16回）男女共同参画フォーラム	
[大分県]	5月23日（※中止）
日医女性医師支援センター事業中国四国	
ブロック会議	（※中止）
日医女性医師支援担当者連絡会	（※中止）

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

8 医業

沖中常任理事 茶川 理事
上野 理事 縄田 理事

医業経営対策

医療界を取り巻く税制に関しては、日本医師会を中心として、医療界全体で厚生労働省をはじめとする各方面に要望した結果、令和2年12月に閣議決定された令和3年度税制改正大綱で「事

業税非課税措置・軽減措置」は引き続き検討事項とされ存続されることになった。また、「いわゆる四段階制（社会保険診療報酬の所得計算の特例措置）」も存続、「医療機関等の設備投資への支援措置（特別償却制度）」が2年延長されることになった。当会では、医療機関等に係る税制問題を喫緊課題としてとらえ、各方面からの情報を収集しつつ、各医療機関が円滑な医業経営ができるように、情報提供を行った。

また、医業の事業承継については、今年度は県内の医業承継の実態や医療機関管理者の考えを把握し、県民に安心安全な医療を継続して提供できる地域づくりを目的に、「医療機関の医業承継に関する調査」を行った。調査結果から、約6割の診療所の管理者が承継したいと考えていることがわかり、しかし、親族以外の後継者候補を見つけることに苦労している様子がうかがえた。医師会内での「相談窓口の設置」や「マッチングのための承継バンクの設立」に対する会員のニーズは高いと考える。

さらに、昨今のコロナ禍において、会員またはその医療従事者が感染あるいは濃厚接触等で休業又は外来閉鎖を余儀なくされた場合の支援金制度も創設した。

そのほか、医療を取り巻く諸問題については、医業経営の適切な財源確保として消費税増収分で社会保障財源の確保と、新型コロナウイルス感染症の影響で経営状態が悪化している医療機関への支援、そして医業承継の支援の要望を行った。

医療機関経営セミナー（郡市医業担当理事協議会） 1月14日（書面開催）
自民党山口県連政策聴聞会 10月16日
ドクターバンクを利用しての医師確保への取り組み
コロナ禍における医療機関の支援

医療従事者確保対策

令和2年度も継続して医療従事者に対する教育・研修の開催を支援していくための事業を、強化して行っている。

毎年の状況を取り纏めている「看護学校（院）に関する基本調査」では、運営が厳しい状況が変

わらないことがうかがえ、特に応募者、入学者の減少が顕著であることから、応募者等の増加を目的として「医師会立看護学校PR動画」を制作し、TV放映及びYouTubeへのアップロードを行ったところである。これらのPR方法の効果については今後検証し、改めて対策を検討する。

また、本年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各種協議会等を中止せざるを得ない状況であったが、各看護学校（院）への助成等は以下のとおり実施した。

国や行政に対しては、看護職員等の確保、養成施設の現状の理解及び支援拡充について要望を継続して行った。

郡市看護学院（校）担当理事・

教務主任合同協議会 （※中止）

中四九地区医師会看護学校協議会（大牟田市）
（※中止）

看護学校課題対策検討会 （※中止）

看護学校（院）への助成

看護職員等研修会に対する助成

生徒募集対策（募集ポスター作成）

山口県准看護師教育教務主任会への助成

山口県実習指導者養成講習会受講者に対する
助成

オープンキャンパス開催時の助成

准看護師を対象としたスキルアップ研修会開催
時の助成

中四九地区医師会看護学校協議会への

学校（院）参加のための助成 （※中止）

看護教員養成講習会の通信受講者の支援

都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会
（※中止）

医師会立看護学校PR動画の制作及び放映

労務対策

医療機関が円滑な医業運営をするためには、従業員等の労務管理は必要不可欠なもので、それは県民への質の高い医療の提供にもつながる。適正な労務管理ができるように、関係当局と連携して情報提供等を行った。

平成27年9月に開設された「山口県医療勤務

環境改善支援センター」においては、当会も必要に応じて情報提供等の連携をした。

働き方改革については、労働局等の関係機関からの情報を会員に周知徹底を図るとともに、中央の動向を注視し、適宜対応できるようにしている。その他、関係機関と協議を行った。

労働基準法、男女雇用機会均等法、
育児・介護休業法などの普及啓発
山口県医師会ドクターバンク活用の推進
山口県医療勤務環境改善支援センターとの
連携運営協議会 3月12日（書面開催）

医療廃棄物対策

今年度も、国や県からの医療廃棄物取扱いに関する情報提供及び医師会員からの廃棄物に関する問い合わせへの対応を行った。

医療廃棄物適正処理講習会 (※中止)

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

II その他事業

1 収益

実施事業を財政的に支えるために、次の事業を実施した。

(1) 保険料収納代行業務

主に会員を対象として生命保険及び損害保険の保険料の集金業務を保険会社等に代わって行うことにより、生命保険会社等から集金代行手数料を得た。

(2) 労働保険事務組合業務

小規模の事業主である会員から委託を受けて、労働保険料の申告、納付各種届け出等の業務を行い、山口労働局から報奨金の交付を受けた。

III 法人事業

1 組織

清水専務理事
藤原理事 縄田理事

1 表彰

医事・衛生に関しての地域社会に対する
功労者表彰 1名
長寿会員表彰 33名
役員・代議員・予備代議員・郡市医師会長
通算10年以上表彰 18名
退任役員感謝状贈呈 4名

2 会員への入会促進・研修

新規第1号会員研修会 10月 8日

3 調査研究等

自浄作用活性化委員会 10月24日
裁定委員会 12月12日

4 郡市医師会関係

郡市医師会長会議 10月15日 2月25日
郡市医師会事務連絡協議会 7月14日

5 日医関係

第147回定例代議員会 6月27日
都道府県医師会長会議 (Web)
9月15日 11月17日 1月19日
日本医師会監事会 4月14日 (書面開催)
日本医師会財務委員会 (Web) 5月 8日
日本医師会理事会 (Web)
4月14日 5月19日 6月16日
日本医師会学術推進会議 (Web)
12月17日 2月 4日
日本医師会医療経営委員会 (Web)
11月26日 1月13日 3月31日
日本医師会医師会共同利用施設
検討委員会 (Web)
10月23日 2月12日 3月26日
日本医師会IT委員会 (Web)
12月 9日 3月26日
日本医師会母子保健検討委員会 (Web)
11月25日 3月 4日

6 中国四国医師会連合関係

常任委員会（Web）

5月30日 6月11日 7月21日

10月3日 11月28日 3月27日

中国四国医師会連合総会（Web）

10月3日

中国四国医師会連合各種分科会（Web）

10月3日

中国四国医師会事務局長会議

1月29日（※中止：書面開催）

福祉を包括した総合拠点として重要な役割を果たしているものの、施設の老朽化や民間との競合など経営面での問題を抱えている施設もある。

本年度より担当県として参加することとなった、日本医師会共同利用施設検討委員会において、全国の共通の問題点に対する対応策や運営上の情報交換を行った。

また、山口県衛生検査所精度管理専門委員会への参加及び山口県衛生検査所立入検査を行い、精度向上に貢献した。

7 会員福祉関係

(1) 会員親睦

山口県医謡会 7月5日（※中止）

山口県医師会ゴルフ大会
11月22日（※中止）

山口県医師会囲碁大会 2月14日（※中止）

(2) 弔慰（物故会員参照）

規定どおり実施した。

日本医師会共同利用施設検討委員会への参加（Web）

10月23日 2月12日 3月26日

山口県衛生検査所精度管理専門委員会への参加

9月10日 2月4日

山口県衛生検査所立入検査 11月12日

第22回中国四国医師会共同利用施設等

連絡協議会への参加（徳島県）

（8月29日：※中止）

8 新公益法人制度対策

決算事務等定期提出書類について顧問会計事務所と協議を行った。

令和2年度日医臨床検査精度管理調査報告会への参加（※中止）

9 母体保護法関係

母体保護法指定医師審査委員会（書面開催）

9月16日 11月6日

（指定更新44名、新規指定2名）

母体保護法指定医師研修会 8月23日

認定研修機関（9施設）の定期報告

日医家族計画・母体保護法指導者講習会（Web）

12月5日

12 社会貢献

山口県立美術館及びレノファ山口FCに対する活動支援等を行った。

10 関係機関連携

山口県健康福祉部との懇話会 9月3日

山口県歯科医師会との懇談会 11月17日

山口県看護協会、山口県病院協会、三師会懇談会（中止）

13 医政対策

自民党山口県連政策聴聞会 10月16日

自民党山口県支部政経セミナー 10月25日

公明党山口県本部政策懇談会 11月3日

自民党山口県連環境福祉部への要望
12月4日第16回医療関係団体新年互礼会
1月9日（※中止）公明党新春政経セミナー
1月16日（オンライン配信）**11 医師会共同利用施設対策**

医師会病院、臨床検査センター及び介護関連施設等の医師会共同利用施設は、地域の健康・医療・

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

14 庶務関係報告

(1) 会員数 (令和2年12月1日現在)

	令和2年度	令和元年度	増減(△)
第1号会員	1,241	1,258	△17
第2号会員	877	874	3
第3号会員	463	473	△10
計	2,581	2,605	△24

郡市医師会別会員数

郡市医師会	第1号	第2号	第3号	計
大島郡	7	21	3	31 (32)
玖珂	23	23	0	46 (48)
熊毛郡	15	5	0	20 (19)
吉南	56	40	5	101 (103)
美祢郡	6	7	0	13 (13)
下関市	271	121	68	460 (479)
宇部市	173	98	35	306 (304)
山口市	115	108	29	252 (253)
萩市	40	37	0	77 (77)
徳山	120	125	24	269 (266)
防府	98	79	41	218 (214)
下松	54	27	1	82 (82)
岩国市	92	39	7	138 (137)
山陽小野田	61	40	10	111 (111)
光市	34	40	4	78 (81)
柳井	39	39	6	84 (81)
長門市	27	23	1	51 (52)
美祢市	10	5	1	16 (15)
山口大学	0	0	228	228 (238)
計	1,241	877	463	2,581 (2,605)

()は令和元年度

(2) 物故会員

令和2年4月1日から令和3年3月31日までに32名の会員がお亡くなりになりました。

(3) 代議員数

大島郡	1	山口市	6	光市	2
玖珂	1	萩市	2	柳井	2
熊毛郡	1	徳山	6	長門市	2
吉南	3	防府	5	美祢市	1
美祢郡	1	下松	2	山口大学	5
下関市	10	岩国市	3		
宇部市	7	山陽小野田	3	計	63名

(4) 代議員会

第185回臨時代議員会

令和2年5月21日(木)山口県医師会館

役員選挙

1. 議長、副議長の選定の件
2. 理事候補者の選出の件(会長候補者、副会長候補者、理事候補者)
3. 監事候補者の選出の件
4. 裁定委員候補者の選出の件
5. 日本医師会代議員・予備代議員の選出の件

報告事項

報告第1号

令和2年度山口県医師会事業計画の件

報告第2号

令和2年度山口県医師会予算の件

第186回定例代議員会

令和2年6月18日(木)

山口県総合保健会館 第1研修室

報告事項

報告第1号

令和元年度山口県医師会事業報告の件

議決事項

議案第1号

令和元年度山口県医師会決算の件

議案第2号

公益目的支出計画変更の件

議案第3号

山口県医師会役員(会長、副会長、理事、監事)及び裁定委員選任の件

議案第4号

山口県医師会役員(会長、副会長)選定の件

議案第5号

令和3年度山口県医師会費賦課徴収の件

議案第6号

令和3年度山口県医師会入会金の件

議案第7号

令和3年度役員等の報酬の件

議案第8号

顧問の委嘱に関する件

(6) 常任理事会

4月23日 9月24日 3月4日
3月25日

(7) 監事会

5月14日に開催し、令和元年度の決算状況及び業務執行状況について詳細に監査を受けた。

2 管 理

医師会運営及び会館管理に関することを行った。

第187回臨時代議員会

令和2年7月16日(木)

ユウベルホテル松政


議決事項

議案第1号

山口県医師会役員(理事)選任の件

(5) 理事会(協議事項)

4月 2日	4月16日	5月14日
5月28日	6月18日	6月25日
7月 9日	7月22日	8月 6日
8月20日	9月 3日	9月17日
10月 1日	10月15日	11月 5日
11月19日	12月 3日	12月17日
1月 7日	1月21日	2月 4日
2月25日	3月18日	




**医業継承・医療連携
医師転職支援システム**

〈登録無料・秘密厳守〉

後継体制は万全ですか？

DtoDは後継者でお悩みの
開業医を支援するシステムです。
まずご相談ください。



お問い合わせ先

0120-337-613

受付時間 9:00~18:00(平日)

よい医療は、よい経営から

総合メディカル株式会社

www.sogo-medical.co.jp 東証一部(4775)

山口支店/山口市小郡高砂町1番8号 MY小郡ビル6階
TEL(083)974-0341 FAX(083)974-0342
本 社/福岡市中央区天神
■国土交通大臣免許(2)第6343号 ■厚生労働大臣許可番号40-ユ-010064